

一般乗用旅客自動車運送事業の運賃料金表（ケア運賃）

1. 運賃

(1) 時間制運賃

特定大型車	拘束	分ごとに	円
大型車	拘束	分ごとに	円
中型車	拘束	分ごとに	円
小型車	拘束	分ごとに	円

(2) 運賃料金の割引

(a) 公共的割引

- (ア) 身体障害者割引・・・1割引
- (イ) 知的障害者割引・・・1割引
- (ウ) 精神障害者割引・・・1割引

一般乗用旅客自動車運送事業の運賃及び料金の適用方法

1. 車種区分

(ア) 特定大型車

道路運送車両法施行規則第2条に定める普通自動車及び小型自動車で乗車定員7名以上のもの。

但し、寝台専用車、車椅子専用車及び寝台・車椅子兼用車及び内燃機関を有しない自動車を除く。

(イ) 大型車

道路運送車両法施行規則第2条に定める普通自動車のうち排気量2リットル（ディーゼル機関を除く。）を超えるもので乗車定員6名以下のもの。

寝台専用車、車椅子専用車及び寝台・車椅子兼用車で乗車定員7名以上のもの。

(ウ) 中型車

道路運送車両法施行規則第2条に定める普通自動車及び小型自動車のうち、当車種区分にて定める特定大型車、大型車、小型車のいずれにも該当しないもの。

但し、同条に定める普通自動車及び小型自動車のうち内燃機関を有しないもので乗車定員7名以上のものを除く。

寝台専用車、車椅子専用車及び寝台・車椅子兼用車で乗車定員6名のもの。

(エ) 小型車

道路運送車両法施行規則第2条に定める小型自動車のうち自動車の長さが4.6メートル未満で乗車定員5名以下のもの。

同条に定める普通自動車で排気量2リットル（ディーゼル機関を除く。）以下のものうちハイブリッド自動車で乗車定員5名以下のもの。

同条に定める小型自動車のうちハイブリッド自動車で乗車定員5名以下のもの。

同条に定める普通自動車、小型自動車、軽自動車のうち内燃機関を有しないもので乗車定員5名以下のもの。

寝台専用車、車椅子専用車及び寝台・車椅子兼用車で乗車定員5名以下のもの。

同条に定める軽自動車で、福祉輸送事業にのみ使用するもの。

- 備考 1. ディーゼル機関を搭載した自動車については、同一仕様（外寸、内装等）のガソリン車の車種区分を適用する。
2. ハイブリッド自動車とは、内燃機関及び駆動用の電動機又は油圧モーターを有する自動車をいう。

2. 運賃料金の適用方法

(1) 時間制運賃

- (a) 拘束時間の算定は旅客の要求により営業所等を出発したときから旅客の運送を終了したときまでの実拘束時間による。
- (b) 拘束時間は 分単位とし、 分未満の端数が生じた場合は 分単位に切り上げる。
- (c) 時間制運賃による契約の場合は、前面に「貸切」の表示をする。
- (d) 時間制運賃には、運賃の割増及び料金は適用しない。

(2) 運賃料金の割引

(a) 公共的割引

- ① 身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者の割引は、身体障害者福祉法（昭和24年12月26日付け法律第283号）に規定する身体障害者手帳又は療育手帳制度（昭和48年9月27日付け厚生事務次官通知）に規定する知的障害者療育手帳並びに精神保健及び精神障害者保健福祉に関する法律（昭和25年5月1日付け法律第123号）第45条に基づく精神障害者保健福祉手帳の交付を受けたもので、当該手帳を提示したときに適用する。
- ② 割引の対象運賃は、身体障害者、知的障害者又は精神障害者自身が乗車した区間の運賃とする。
- ③ 運賃料金の額は、(1)により計算された額に0.9を乗じ、10円未満の端数を切り捨てた額とする。
- ④ 公共的割引は、その他の割引と重複して適用するものとするが、公共的割引のうち、複数の割引条件に該当する場合は、公共的割引同士は重複して適用しない。

3. その他

- (1) 旅客の要求により、有料道路、自動車航送船、有料駐車場等を利用した場合の当該利用の実費は、旅客の負担とする。
- (2) 道路事情、交通規制等客観的な事情又は他の適当な方法がないためにやむを得ず有料道路又は自動車航送船を利用して往路又は復路が回送となる場合の当該利用の実費は、旅客の負担とする。

4. 運賃及び料金を適用する営業区域

青森県